

平成 25 年 12 月 1 日(日)

南日本新聞掲載

# くしら黒土祭りにて、小学生をサポートし販売体験

## カレンダーを 手作りし販売

串良小生、商高生に学び

鹿屋市の串良小学校の児童30人が23日、同市串良平和公園であった収穫祭「くしら黒土祭り」で、来場者の写真入りオリジナルカレンダーを手作りして販売した。児童は高校生から作り方を学び、パソコンを駆使して作り上げた。

串良小近くの串良商業高校が地域と連携し活性化を図る「大隅コミュニケーションプロジェクト」の一環。カレンダーは3種類のフレームから選べ、写真を入れ1枚100円で販売した。児童は「いらっしやいませ」と大きな声で呼び込み。写真を撮ると、パソコンを使って手早くカレンダーに仕立てた。

串良小6年の永田君(12)は「難しかったけど、高校生のお兄さんが分かりやすく教えてくれた。とても楽しかった」と話した。

黒土祭りでは農産物の直売や鶏卵のつかみ取りなどがあり、約1万3千人でにぎわった。(上山智子)



串良商業高校の生徒とカレンダーを製作する串良小学校の児童 鹿屋市の串良平和公園